

レファレンス だより

2013年2月号
No. 123

福岡市総合図書館
図書サービス課 相談係
☎092-852-0632



レファレンス・サービスとは、情報を求めて来られた利用者に対して、図書館の資料等を活用して、必要としている情報を探すお手伝いをするサービスのことで、法律相談や物品鑑定などといったお答えできない質問もあります。また、質問によっては回答に日数がかかるもの、資料や情報が提供できない場合もありますのでご了承ください。

■レファレンス受付件数（2012年11月分）

参考	人文	社会	自然	郷土
105	1,540	326	333	442
国際	国連	こども	ホピュラー	合計
504	44	823	1,036	5,153

（開館日 25日 一日平均 206件）



今月のレファレンス徹底解説！

Q：福岡市における、1世帯あたりの外食費や惣菜購入費が知りたい。また、外食の動向も知りたい。

■生計費に関する統計資料を確認する

『家計調査年報 平成23年 家計収支編』（総務省統計局 2012年）2階 C16 R365.4/カ

「総世帯」/「二人以上の世帯」/「単身世帯」（それぞれ「勤労者世帯」・「勤労者以外の世帯」に分けて調査あり）における1ヶ月間の支出調査あり。「単身世帯」は全国数値のみだが、「総世帯」/「二人以上の世帯」は全国以外に地方や都道府県庁所在市別の項目があり、「福岡市」の支出費用がわかる。消費支出の内訳に「調理食品」「外食」の項目があるが、「二人以上の世帯」は加えて品目別の項目があり、調理食品では「弁当」「サラダ」「ぎょうざ」等、外食では「すし」「ハンバーガー」等の内訳で調べることができる。

『全国消費実態調査報告 平成21年第2巻 品目編』（総務省統計局 2011年）2階 C16 R365.4/セ

「二人以上の世帯」/「単身世帯」（それぞれ「勤労者世帯」・「勤労者以外の世帯」別）における1ヶ月間の「調理食品」「外食」の支出調査あり。「二人以上の世帯」は「北九州・福岡大都市圏」の数値が確認できる。また、「単身世帯」は全国数値のみ。

■福岡市に関する統計資料を確認する

『福岡市統計書 第50回（平成23年版）』（福岡市総務企画局企画調整部統計調査課 2012年）行政資料

福岡市の「二人以上の世帯」（「全世帯」・「勤労世帯」）における1世帯あたり1ヶ月の消費支出あり。「外食費」「調理食材費」がわかるが、福岡市の独自調査ではなく『家計調査年報』を参考に作成。

■食生活に関する資料から、外食の動向を確認する

『食生活データ総合統計年報 2012』（三冬社 2012年）2階 C3 R498.5/シ/ヒヅネ2

「外食」に関するアンケート調査や統計の掲載がある。「外食」に関する意識調査（日清オイリオグループ）や「家庭の出費に関する実態調査（外食編）」（MMD研究所）、「外食産業市場動向調査」（日本フードサービス協会）から、「外食でどのような店を利用するか」「外食をする理由」などの意識動向や、「外食産業全店の売上高と店舗数の伸び率推移」などの市場動向などが確認できる。

『外食産業資料集 2012年版』（食の安全・安心財団/編集 2012年）2階 C3 R673.9/ガ/ヒヅネ2

「外食産業市場規模の推移」や「外食率の推移」がグラフや統計値で確認できる。外食産業の市場規模はリーマンショックのあった平成20年以降、減少傾向が続いているが、中食などを含めた「食の外部化」は進んでおり、高齢化・単身世帯化が進む中、「食の外部化」傾向は強まると思われる、とある。

■インターネットで最新の情報を確認する

総務省統計局>統計データ>家計調査【<http://www.stat.go.jp/data/kakei/index.htm>】

家計調査報告（月報）で、「二人以上の世帯」の最新の支出調査を確認することができる。



その他にもこんな質問がありました

Q：博多のしきたりの「嫁ごぶり」について知りたい。

■冠婚葬祭・儀礼関連

『九州の祝事 誕生・婚姻・年祝い』（中村 正夫／[ほか]著 明玄書房 1978年）2階 D19 385/キ
婚姻後の初正月に、初歳暮として「嫁ごぶり」といって、鯉一匹に一俵餅を里方に贈ったという甘木市三奈木の例が載っている。また、博多でも婚家から嫁の里に鏡餅一重ねと鯛一匹を贈る返礼として、里方から鏡餅一重ねに鯉一匹を贈る。これを嫁御ぶりと呼ぶが、オトコブリというところもあると書かれている。他にも、同様に鯉を贈る例として、桂川町や筑後、豊前が挙げられている。

『冠婚葬祭博多のしきたり』（波多江 五兵衛／著 西日本新聞社 1976年）2階 K10 K385/262/ハ
新夫婦の初正月には、新郎側から嫁の里に鏡餅一重ね、鯛一尾を贈り、新婦の里からは返礼に鏡餅一重ね、ブリー尾を贈る。新郎の家ではこのブリを正月客に使うとある。

『福岡県の冠婚葬祭 県内各地のしきたり』（西日本新聞社 1993年）2階 K10 K386/000/フ
筑後地方では嫁御ぶりと呼び、ブリを贈ることで「あなたの娘御さんは、嫁御ぶりがいい」という意味をこめたとある。

『福岡結婚読本 '94-'95 福岡県版』（西日本新聞社 1994年）2階 K10 K385//フ
福岡ではブリー尾と酒一升を贈り、筑後地方、特に三井郡や浮羽郡ではこれに鏡餅一重を加えて三点贈る家もあると書かれている。

『日本民俗調査報告書集成 [40] 九州・沖縄の民俗 福岡県編』（大島 暁雄／[ほか]編 三一書房 1996年）2階 D18 382.1/ニ
甘木の江川地区の儀礼として、初正月に婿方より半俵餅（又は一俵餅）に鯉一尾、酒、こぶ、するめをお歳暮として贈り、嫁方も同様の餅と鯛をかえすしきたりが紹介されている。特に嫁ごぶりとは書かれていない。

Q：西欧人の名前 William の、由来や愛称などについて知りたい。

■事典

『ヨーロッパ人名語源事典』（梅田 修／著 大修館書店 2000年）2階 G11 R288.1/ウ
William については、征服王ウィリアム（William the Conqueror、在位 1066-87）の項に詳しく述べられている。ウィリアム（William）は近代ドイツ語では、ヴィルヘルム（Wilhelm）である。ヴィルヘルム（Wilhelm）の Wil- は、英語の will（意志）と同系の言葉である。-helm は、「兜（かぶと）」とか「守護」を意味する言葉であるので、Wilhelm の原義は「意思の強い守護者」とか「強い守護者」と解釈できるとあり。ウィリアムは、その貴族的なイメージから今世紀になるとかえって、敬遠されるようになり、代わって、ウィル（Will）、ウィリー（Willie）、ビル（Bill）、ビリー（Billie）などの短縮形が好まれるようになった。ウィリアムは、フランス語では（ギョーム Guillaume）、イタリア語（グリエルモ Guglielmo）、スペイン語（ギリエルモ Guillermo）と呼ばれる。

また、William は、長い歴史の中で姓としても使われるようになったとあり。「ウィリアムの息子」の意味のウィリアムスン（Williamson）やウィリアムズ（Williams）、短縮形 Will から生まれた姓に、ウィルソン（Wilson）、ウィルキン（Wilkin）がある。

『西欧人名知識事典』（E. C. スミス／[ほか]共編 荒竹出版 1984年）2階 G2 R288.1/ㇿ
William は、「決意・冑（かぶと）」の子孫の意 とあり。

■人名関連

『英米人の姓名 続 由来と史的背景』（木村 正史／著 鷹書房弓プレス 1997年）2階 B13 288.1/キ
中世時代から William の短縮形は Will が使用されてきたが、18 世紀に入ってから Bill が用いられ始め、現在では Bill の方が一般的に使用されている、と書かれている。[w] から [b] への音変化は異例で、その原因が何であったか、現在も判然としていないとのこと。

Q：砂糖のとりすぎによる健康への影響を知りたい。

■砂糖に関する資料

『砂糖入門』（斎藤 祥治・内田 豊／共著 日本食糧新聞社 2010年）2階 E15 588.1/4

砂糖の適正摂取量について、砂糖は食品分類上糖質（炭水化物）に属する食品で、その摂取量は糖質食品全体で考えるべきとしている。栄養や総カロリーの面でバランスのよい食生活を心がければ、その中で甘いものを楽しむことは問題ないとある。また、日本人の一人当たりの砂糖摂取量は、先進国でもっとも少ないというデータも紹介している。

『砂糖の科学』（橋本 仁・高田 明和／編 朝倉書店 2006年）2階 E15 588.1/4

肥満や糖尿病は砂糖が原因と思われがちだが、直接の因果関係はなく、むしろ生活習慣に問題があるという考えを示している。糖によって虫歯が発生するメカニズムも解説されており、砂糖の消費量が多い国では虫歯の数も増える傾向があることや、間食等で口の中に砂糖が長い時間停滞するような食生活は虫歯を発生させやすいことが示されている。

■糖質の摂取

『日経ヘルス 2010年6月号』（日経BP社）閉架書庫

特集「新・食べるダイエット」の中で、各栄養素の働き等を解説。糖質は体のエネルギー源として欠かせないので控えすぎはいけないが、とりすぎると脂肪として体に蓄えられてしまうとある。食物繊維と一緒にとると血糖値が上がりにくいなど、食品選びや食べ方のアドバイスも載っている。

Q：福岡藩の「炭役所」や「焚石(たきいし)会所」、「石炭(いしずみ)仕組」について知りたい。

■福岡の歴史関連

『古地図の中の福岡・博多 1800年頃の町並み』

(宮崎 克則・福岡アーカイブ研究会／編 海鳥社 2005年)ポ89 219.1/コ/7ルサ

「炭役所」について記載あり。農村からの年貢の増収が期待できない福岡藩は、石炭など特産品の生産を奨励する専売制を実施した。「炭役所」が設置された年は不明であるが、天明8年(1788)に石炭の他領への販売禁止、定値段での販売を命じている、とある。また、掘り出したままの石炭は焚石(たきいし)といい、これを焼いて悪臭などを出しにくくしたものを石炭(いしずみ)といった。焚石は製塩用の燃料として、石炭は福岡・博多市中の家庭燃料として販売されていた。「炭役所」のあった場所は、現在の福岡市箕子(すのこ)小学校となっている。

『福岡県史 通史編[4] 福岡藩 2』(西日本文化協会／編集 2002年)閉架書庫

「石炭仕組」について記載あり。18世紀後半、瀬戸内地方の塩田で石炭焚きが始まると、遠賀・鞍手・嘉麻・穂波の東四郡の焚石が大量に瀬戸内地方に積み出され、福岡・博多両市中の石炭が不足・高騰するようになった。福岡藩は天明8年に「石炭仕組」を実施し、焚石・石炭の領外への販売を禁止するとともに、東四郡の石炭を福岡・博多両市中に回漕して、公定価格で販売させるなど、両市中の石炭価格の安定をはかったとある。

『福岡県の歴史 新日本郷土史大系 九州篇』(竹内 理三／[ほか]著 文画堂 1956年)閉架書庫

「石炭仕組法」について記載あり。産業としての石炭の重要さが明らかになると福岡藩は芦屋と若松に「焚石会所」を建て、天保8年(1837)には「石炭仕組法」を設けて民間の直接取引を禁止し、庄屋に責任を持たせて採掘を統制し、藩の独占事業としたとある。

『九州と藩政改革 1』(藤野 保／編 国書刊行会 1985年)2階 B12 219/キ

江戸中期頃における、福岡藩の専売制度の沿革について記載があり、石炭の専売についても触れられている。天災などによる財政危機打開の改革のひとつである専売仕法があるが、生産物を藩が獲得し、会所の役人はこれを大阪へ廻送して蔵屋敷に収め、それを販売して正金を得たとある。石炭については「焚石会所」など生産事業専門を通じてであったと思われる、とのこと。文化年間に芦屋、若松両地に設立した「焚石会所」は文政末年殆ど廃止されたが、天保8年同地に再設立し、藩役人の監視のもとに採炭・販売・運送などの全般を統制支配し、筑前地方の石炭業務全部を藩営独占とする仕法を行っていたとある。

※ 棚番号は総合図書館のもので、本によっては、分館も含めて複数冊所蔵しているものがあります。



国際資料、再発見！！

英語力と知識を GET！“Oxford Very Short Introductions” シリーズ

人文科学や社会科学から自然科学やライフサイエンスなど様々な分野の重要なテーマを分かりやすく解説した教養入門書としては、日本の岩波新書やフランスのクセジュ文庫が有名ですが、英文には以前にはそうした叢書がありませんでした。そうした所、1995年にオックスフォード大学が教養入門書シリーズとして“Oxford Very Short Introductions”を出版しました。するとこのシリーズは学術的な正確さと入門書としての読みやすさを兼ね備えたシリーズとの高い評価を得て、世界25カ国以上で翻訳され、学生から研究者まで愛用されているベストセラー叢書となりました。海外では多くの図書館で所蔵されており、また大学のテキストや教材としても広く利用されています。当館ではこのシリーズを出版当初から購入しており、現在323冊を所蔵しています。

このシリーズの日本語版は、岩波書店より「1冊でわかる」シリーズとして出版されており、当館でも現在44冊が所蔵されています。また近年流行している「英文多読」の次のステップの本として“Oxford Very Short Introductions”シリーズが紹介される場合も多いです。

当館では“Oxford Bookworms”シリーズ、また“Magic tree house”シリーズやその他の英文児童書を数多く所蔵しています。英語のステップアップと知識のゲットに“Oxford Very Short Introductions”を利用しませんか。



今月の一冊！

『典拠検索新名歌辞典』

(中村 薫／編 久保田 淳／新訂 明治書院 2007年) 2階 C14 R911.10/4

万葉集から古今・新古今にいたるまでの名歌とされる和歌、約8000首の作者と出典、引用された文献が調べられます。出典と引用文献は明治以前の資料が対象となっています。和歌を調べるといえば『国歌大観』がありますが、調べようとする和歌がどの歌集に収められているかなど、すぐには分からないものです。そんな時はこの資料を使ってみてはいかがでしょうか。和歌の頭字の五十音順になっており、上の句が分かれば調べることができます。『万葉集』の和歌には巻と、旧版『国歌大観』の歌番号を、それ以外の歌集・歌書で『新編国歌大観』に収められている和歌には、同書の歌番号が付されています(当館は『新編国歌大観』を所蔵)。またその和歌が勅撰集の場合は部立が併記されています。この本の原著にあたる昭和11年刊の『典拠検索名歌辞典』復刻版も所蔵しています。

使ってみました！⇒菅原道真の和歌「東風吹かばにほひおこせよ梅の花 主なしとて春を忘るな」和歌本文に続いて〔拾遺・雑春・1006〕とあることから、拾遺和歌集の雑春の部に収載。『新編国歌大観』の歌番号は1006。また『大鏡』(歌番号13)をはじめ『太平記 巻12』(歌番号47)、『筑紫紀行 巻7 23日』などに引用されていることが分かる。



今年の梅の開花は…

「今月の一冊！」の中でも取り上げた梅の花。今年も冷え込みによって開花が遅れるかもしれませんね。みなさま、風邪などひかれませぬように。

※「図書活用術」はお休みしました

